

♪「JAAアコーディオン初夏の風コンサート」 ぶらり訪問記 ♪

2009年5月30日(土) 19:00 開演

会 場 かつしかシンホニービルズ・アイリスホール
京成線「青砥」駅より徒歩約6分

主 催 : NPO日本アコーディオン協会 (JAA)

協 賛 : 音楽センター東武アコーディオン教室
東京楽友クラブ

入場料 : 一般 2.000円 (JAA 会員 1.800 円)
中学生以下無料

出演者 : ◆東部アコーディオン教室 ◆ニューア
ンサンブル“アコルデ” ◆コーラグループ
“フォルテ” ◆バレエグループ“わたぼうし”
◆アコーディオン・カルパッチョ・東部
◆峯島・横山ファミリー

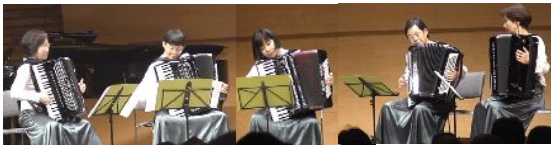
特別ゲスト: ◆「空谷足音」 柴崎和圭 (Acc) /
荒川由貴 (Pf) / 北村真紀子 (Vn) /
高橋 雪 (Flu) ◆Music Clown みぎわ

* 歌と踊り で世界ツア ー! パート II *



■全体が三部に構成されていて、オープニングは東部アコーディオン教室によるドボルザークの「新世界より」第2楽章で、アコーディオンオーケストラの音の厚みを聴かせました。(写真上)

■2 番目はニュー・アンサンブル・アコルデによる重奏で3曲演奏、5人がそれぞれ違うパートを演奏することでオープニングの合奏とはまた違った音の響きを楽しむことができました。写真下)



■3 番目は、日本古謡「さくら さくら」をラース・ホルム編曲で柴崎和圭氏が独奏。続いて「空谷足音」のメンバーによる (Acc)、(Pf)、(Vn)、(Flu)、のアンサンブル。リズムやテンポの速い踊りの曲やクラリネット・ポルカの演奏でフルートの組み合わせを楽しめました。



■休憩を挟んで[II部]は、峯島・横山ファミリーの演奏。スピーカーカラ流すドラムスの演奏をバックにノリのいい曲で、子どもが主役になる場をつくったり親子で楽しめる楽器で



あることをPRできたのではないのでしょうか。

■次はガラッと変わって男性4人のコーラス(コーラグループ“フォルテ”)「何という胸の痛みだろうか」など労働歌を3曲。昭和3、40年ごろは全国にうたごえがあふれてアコーディオンが鳴っていました。



■次のアコーディオンカルパッチョ・東部のアコ伴奏とバレエの組み合わせは、プロのコンサートでも見ることがなくとてもよい企画でした。筆者の所属している教室でもタンゴの曲を練習していますが、踊りにあわせて演奏できたらどんなに素敵だろうと思いました。



■再び休憩を挟んで[III部]は、ゲスト出演者音楽的道化師「みぎわ」の独り舞台。客席を楽しませるのは実にうまい。

■いろんなジャンルの団体がいろんな曲を演奏することでアコーディオンのすばらしさをもっと広く大勢の人に伝えたい。そんなJAAの想いがいっぱい詰まったユニークな企画でした。(文:乙津)

